



信達の歳時記

ホームページもご覧下さい

福島法人会

検索

<http://f-hojin.or.jp>

「諏訪神社例大祭」(伊達郡桑折町)

福島県民俗芸能文化写真・映像保存協会事務局長 遠藤寛行さん撮影

平成25年7月1日発行 第497号

ふくしま 法人ニュース



法人会キャラクター けんたくん

2013

7

私のポケット

先ごろ、七十歳を前にお世話になった恩師(八十四歳)が元氣である今と、高校の同級会が開催された。卒業してから五十数年ぶりに会う友人、髪の毛は薄いかまたは白髪、重厚で加齢なる顔と名前とを見比べながら、おそろのおそろの当時を思い起こし、話を進めていく。不思議なもので当時の黒々とした髪の毛のあった日焼けの童顔が思い出されたのです。思い出してしまえば、そのあとは昔話に花が咲いて時間を忘れてしまう。

七十歳の同級会は、「老後の絆」と表した人がいた。齢を重ね、もう一度「絆」を結びなおそうよ。当時とは違う、思いやりのある温かな、家族ぐるみの付き合いができるのではないかと思う。老後の生き方、趣味、いろいろなが話が話せる。これからの暮らしは、このようにあるべきではないかな。このような付き合いができるならば、同級会の幹事としての苦勞も忘れられるし、うれしい限りである。

「老後の絆」には、今回のような横の人間関係だけではなく、死者と今生きているわれわれの世代の関係、次世代との関係という「縦の絆」もある。次世代に何を残すかという意識を持つことは、新しい価値観を生む可能性がある。

(岩見記)

第1回 通常総会開催



吉川 昭
新会長

公益社団法人認定後の第1回通常総会
は去る6月3日（月）午後3時50分よりサンパレス福島において開催された。来賓の伊藤福島税務署長様はじめ多くの会員の方が出席。議事では、役員選任承認の件について



て上程され、山川会長の退任に伴い、吉川副会長が会長に就任された。また、平成24年度決算報告承認の件についても、異議なく承認された。

25年度の重点施策として、①税務行政への協力、②税制改正の対する提言・要望、③税の啓発活動・社会貢献、④研修事業の強化、⑤会務運営の円滑化、⑥福利厚生事業の推進とした。

表彰規程に基づき表彰も行われ、次の方が受賞された。（敬称略）

◎役員功労者

山川章（株）山川印刷所・川瀬成人（株）川瀬酒販・樋口久弥（株）樋口屋商店・鎌田宮人莉（有）アメリカン美容院・野尻榮一（株）野尻緑産・栗村正紀（新扇堂株）・大橋廣治（日東物産株）・加藤守（協三工業株）・真柴功一（株）マルセイ・長谷川好美（株）長谷川実業



山川 章氏

公益社団法人福島法人会 理事・監事名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職	氏名	会社名
会長	吉川 昭	福島ネオ工業株	理事	三浦 康伸	東開クレテック株	理事	多田 恵造	多田建設株
副会長	石本 朗	株）福島丸公	//	三枝 通晃	サンヨー缶詰株	//	丹治 洋子	有）丹治伊蔵商店
//	齋藤 高紀	こころネット株	//	古川 節子	株）第一印刷	//	星野 真弘	株）星野合金
//	齋藤 義博	株）丸福織物	//	福地 雅人	株）フクトウ	//	堀切 知之	有）丸滝
//	高橋 道信	東北コピー販売株	//	桃井 三夫	株）日新土建	//	菅野 晋	丸進機業株
//	渡邊 博美	福島ヤクルト販売株	//	引地 正樹	株）キョーシン金型	//	庄子 隆二	有）庄子商店
//	樋口 郁雄	福島信用金庫	//	大和田 知昭	株）大丸工務店	//	浅尾 浩一	有）浅尾設備
//	渡邊 武	株）渡邊工務店	//	蒲倉 達也	福島リコピー販売株	//	三品 清重	株）アグリテクノ
//	日下部 勉	株）日下部工業所	//	塩崎 京子	（資）航	//	丹野 善一	福島紅葉漬株
//	春日 賢	株）フクシマ・フロンティア・ヒグチ	//	村山 広一	陽光社印刷株	//	齋藤 和也	有）わくや
//	渡邊 英人	有）渡辺自動車	//	石河 徳雄	富久泉工業株	//	森藤 洋一	株）森藤食品工業
専務理事	丹治 幹雄	員外	//	手塚 健一	株）ウェディングエルティ	//	横山 友助	株）桑折ガス
理事	山川 章	株）山川印刷所	//	日下 直哉	株）クサカ印刷所	//	佐藤 司	有）佐藤左官
//	石森 成彦	三兄工業株	//	齋藤 嘉紀	丸藤ガラス株	//	佐藤 晃司	株）富士屋商店
//	富田 建一郎	株）福島工作所	//	五十畑 昌之	東北自興株	//	酒井 富也	株）酒井東栄コーポレーション
//	最上 諭	株）総合コンサルタンツ	//	金子 與志人	福島日産自動車株	//	鈴木 武雄	株）ビジネスサポート
//	佐々木 明子	株）佐々木自動車	//	加納 武志	有）菅野地所	//	真柴 三次	福島中央青果卸売株
//	川津 博彰	文化設備工業株	//	齋藤 節子	日成電設株	//	佐藤 勝也	株）佐藤工業
//	紺野 正雄	株）A水技研	//	酒田 五郎	有）酒田工業	//	柴田 和明	有）アライブ
//	千葉 政行	株）サンベンディング福島	//	大橋 嘉彦	大橋株	//	菅野 留治	株）新栄製作所
//	守山 勝雄	トーホー産業株	//	佐藤 武彦	有）ダイワプラン	//	高橋 文雄	有）せっけんや
//	後藤 洋伸	後藤造園土木株	//	佐藤 万吉	株）山和	監事	鍛冶 輝雄	（税）鍛冶共同会計
//	伊藤 信弘	株）いちい	//	高橋 一朗	株）高橋設備工業所	//	守谷 光雄	株）東邦銀行

◎**会員増強表彰**

樋口郁雄（福島信用金庫）・紺野正雄（株A水技研）・最上諭（株総合コンサルタンツ）



樋口 郁雄氏

◎**福利厚生制度（経営者大型総合保障制度）推進表彰**

会員の部

〈銅賞〉

山川章（株山川印刷所）・桃井三夫（株日新土建）・千葉政行（株サンベインディング福島）・最上諭（株総合コンサルタンツ）

受託会社（大同生命・A・IU） 職員の部

〈金賞〉

高野恭子・村島誠（大同生命）

〈銀賞〉

村上由貴（大同生命）

〈銅賞〉

菅野恵美子・阿部洋子（大同生命）



平成24年度決算・25年度予算

（単位：円）

平成24年度 正味財産増減計算書 <small>（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）</small>			
科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	650	5,071	△ 4,421
特定資産運用益	211	891	△ 680
受取会費	19,871,400	20,225,948	△ 354,548
事業収益	5,359,800	4,650,224	709,576
受取補助金等	13,061,200	13,444,600	△ 383,400
受取負担金	2,353,000	2,045,000	308,000
受取寄付金	200,000	91,445	108,555
雑収益	707,582	578,251	129,331
【経常収益計】	41,553,843	41,041,430	512,413
(2) 経常費用			
事業費	31,905,497	36,808,892	△ 4,903,395
管理費	8,566,905	5,967,237	2,599,668
【経常費用計】	40,472,402	42,776,129	△ 2,303,727
評価損益等調整前当期経常増減額	1,081,441	△ 1,734,699	2,816,140
【評価損益等計】	0	0	0
当期経常増減額	1,081,441	△ 1,734,699	2,816,140
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
【経常外収益計】	0	0	0
(2) 経常外費用			
【経常外費用計】	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,081,441	△ 1,734,699	2,816,140
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	1,009,441	△ 1,806,699	2,816,140
一般正味財産期首残高	40,196,069	42,002,768	△ 1,806,699
一般正味財産期末残高	41,205,510	40,196,069	1,009,441
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	12,398,800	12,603,100	△ 204,300
受取全法連助成金	12,398,800	12,603,100	△ 204,300
一般正味財産への振替額	△ 12,398,800	△ 12,603,100	204,300
一般正味財産への振替額	△ 12,398,800	△ 12,603,100	204,300
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	41,205,510	40,196,069	1,009,441

平成25年度 収支予算書 <small>（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）</small>			
科目	本年度予算	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	19,000,000	19,400,000	△ 400,000
事業収益	4,795,000	4,660,000	135,000
受取補助金	13,466,306	12,961,095	505,211
受取負担金	2,425,000	2,455,000	△ 30,000
受取寄付金	0	200,000	△ 200,000
雑収益	1,305,000	307,000	998,000
【経常収益計】	40,991,306	39,983,095	1,008,211
(2) 経常費用			
公益目的事業	25,327,904	24,806,255	521,649
収益事業等	9,689,294	9,183,632	505,662
管理費	6,089,737	6,040,109	49,628
【経常費用計】	41,106,935	40,029,996	1,076,939
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 115,629	△ 46,901	△ 68,728
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
【評価損益等計】	0	0	0
当期経常増減額	△ 115,629	△ 46,901	△ 68,728
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
【経常外収益計】	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
【経常外費用計】	72,000	72,000	0
当期経常外増減額	△ 72,000	△ 72,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 187,629	△ 118,901	△ 68,728
一般正味財産期首残高	41,205,510	40,196,069	1,009,441
一般正味財産期末残高	41,017,881	40,077,168	940,713
II 指定正味財産の部			
受取補助金等			
受取全法連助成金	12,804,000	12,298,789	505,211
一般正味財産への振替額	△ 12,804,000	△ 12,298,789	△ 505,211
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	41,017,881	40,077,168	940,713



《法人税関係法令の改正について》

1. 特別償却・税額控除に係る改正 (1) 国内の設備投資額が増加した場合の機械等の特別償却・法人税額の特別控除制度の創設

青色申告書を提出する法人が、適用対象年度（平成25年4月1日から平成27年3月31日までの間に開始する各事業年度）において取得等をした生産等資産（※1）で、その適用対象年度終了の日において有するものの取得価額の合計額が、①法人が有する全ての減価償却資産について適用対象年度において償却費として損金経理した金額、及び②比較取得資産総額（※2）の110%に相当する金額のいずれの金額も超える場合において、当該法人がその生産等資産のうちその製作の後事業の用に供されたことのない機械及び装置をその適用対象年度において国内の事業の用（貸付の用を除く）に供したときは、その機械及び装置の取得価額の30%相当額の特別償却、又は3%相当額（法人税額の20%相当額

を限度）の税額控除のいずれかを選択適用できるとされました。

※1 一又は二以上の生産等設備を構成する減価償却資産で、国内の事業の用に供される機械及び装置、建物及びその付属設備、構築物、船舶、航空機、車両及び運搬具並びに工具、器具及び備品をいう。

※2 適用対象年度開始の日の前日を含む事業年度においてその法人が取得等をした生産等資産で、その前事業年度終了の日において有するものの取得価額の合計額

(2) 特定中小企業者等が経営改善設備を取得した場合の特別償却制度の創設

特定中小企業者等（※1）で青色申告書を提出する法人が、平成25年4月1日から平成27年3月31日までの間に、経営改善設備でその製作若しくは建設の後事業の用に供されたことのないものを取得等し、国内の指定事業の用に供した場合には、供用年度において30%相当額の特別償却が出来ることとされました。なお、特定中小企業者等のうち、一定の要件（※2）を満たす法人は7%の税額控除を選択することもできます。

※1 中小企業者又はこれに準ずる一定の法人（中小企業等協同組合等）のうち、中小企業新事業活動

促進法第17条第2項の認定経営革新等支援機関による経営の改善に関する指導及び助言を受けた旨を明らかにする書類の交付を受けた青色申告法人

※2 特定中小企業者等のうち、資本金等の額が3000万円以下の法人（中小企業等協同組合等を除く）

2. 交際費等の損金不算入制度に関する改正

中小法人の交際費課税の特例について、平成25年4月1日以後に開始する事業年度から、定額控除限度額が、現行の年600万円から年800万円に拡大されるとともに、損金不算入額について、定額控除限度額に達するまでの金額のうち、今まで10%相当額を損金不算入額としていたものが0とされました。

《印紙税の軽減措置の拡大について》

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの間に作成される「不動産譲渡契約書」及び「建設工事請負契約書」については、従前の軽減措置がそのまま1年間延長されました。

※詳しくは福島税務署にお尋ねいただくか、国税庁ホームページに掲載しているパンフレットをご覧ください。

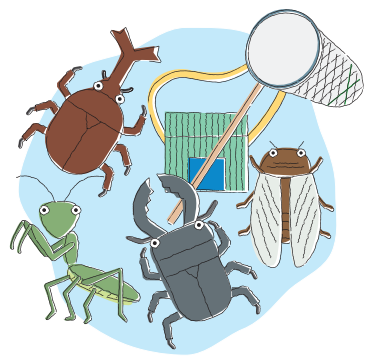
県税からのお知らせ

代替取得した不動産に係る不動産取得税の特例措置について

東日本大震災により被災した家屋とその敷地、農地の所有者が、それらに代わるものを平成33年3月31日までに新たに取得した場合、「新たに取得した家屋とその敷地、農地」に係る不動産取得税が軽減されます。

また、帰還困難区域、居住制限区域、計画的避難区域、避難指示解除準備区域内にある家屋とその敷地、農地に代わるものを取得した場合にも、軽減措置があります。

詳しくは、最寄りの地方振興局県税部までお問い合わせください。
(県庁税務課)



「消費税法改正について」

**3 特定新規設立法人に係る事業者
免税点制度の不適用制度の創設**
特定の要件に該当する新規設立法人については、免税点制度を不適用とする。

4 任意の中間申告制度

中間申告義務のない事業者が、届出をすることにより、自主的に中間申告・納付をすることができる。

5 税率引上げに伴う経過措置

適用開始日以後に行われる資産の譲渡等一定のものについては、改正前の税率を適用するなどの経過措置。

以上、概要のみを記載しました。詳しくは、お近くの税理士にお聞きいただくか、国税庁のホームページ等でお調べください。

消費税率の引上げは私達の生活に係わってきます。価格への転嫁、納税資金や仕入資金等資金繰り、レジ等情報システムの対応。一部で始まっているとも言われる駆け込み需要への対応。引上げはどのようなことになるかわかりませんが、備えておくことは必要ではないでしょうか。

1 消費税収入の用途の明確化
国の消費税収入については、年金・医療及び介護の社会保障給付並びに少子化対策に充てる。

2 消費税率の引上げ
平成26年4月1日に8%へ、平成27年10月1日に10%へ、消費税率を引上げる。(経済状況等総合的に勘案し、停止を含め所要の措置を講ずるとしてあります。)

東北税理士会福島支部 阿部寿子



第1回通常総会記念講演会

「パワーコミュニケーション」

こんなに簡単！笑いで周囲が応援団に変わる



を「空気感」とし、人間の行動に對しての意識についてふれ、90%以上が無意識で行動しているという話をされた。予想外だったのか参加者からはどよめきがあった。

次に本日のテーマのコミュニケーションについて、①大切なのは即効性があること、②どのような言い方をしたら良いのか(同じことを言うにしても、言い方次第で相手の捉え方が変わる。それだけ言葉からのイメージは大切である。)等話された。

講師の夏川氏は、「あいさつに限らず、何でも継続することでコミュニケーションが身に付いてくる。コミュニケーションにウルトラCは存在しない。日頃の積み重ねが大切」と強調された。

また、桂三枝(現・桂文枝師)の弟子だった頃や芸能活動をしていた頃のエピソード等にもふれられ、時折笑いが起こるなど和やかな雰囲気の中に終了した。

総会に先立ち、午後2時より第1回通常総会記念講演会が開催された。講師には、京都大学工学部在学中に、落語家・桂三枝(現・桂文枝師)に弟子入り。卒業後、吉本興業の芸能人としてTVドラマ・バラエティ・舞台・映画・ラジオのパーソナリティとして活躍されたコミュニケーション・プロデューサーの夏川立也氏。講演会では、はじめにキーワード



益三 ややましろし



有限会社 益蔵
代表取締役
大澤 益三氏
(福島市栄町7-33福島トヨタビルB1)
TEL (024) 525-8070

近所にイタリアンレストランが二軒あるが、いまだに店名が覚えられない。「益蔵」さんは居酒屋のようであるがイタリアンである。中合の向かい福島信用金庫駅前支店の地下にある。

「益蔵さんで変わった名前ですね」「私の名前が益三ですから益蔵にしたんです。ますます利益が増して蔵が建つようにという願いがこめられているんです」と真面目にいうので笑ってしまつた。

和テイストイタリアンMASUZOと打ち出しているように、日本人好みの味をコンセプトに素材、調理にこだわっているらしい。疑問に思ったら、もともと日本料理の調理師だったことが分かった。

最初から話をするると次のようになる。大澤社長は昭和四十二年三月、現在被災地として苦難に満ちた生活を送っている飯館村に名前の通り三男として生まれた。農機具の会社を経営する父の背中を見ながら中学校まで過ごした後、親元を離れ下宿生活をしながら県立福島商業高校でスポーツと遊びの3年間を送る。進路を決めるにあたり父

のアドバイス等もあり、当時アルバイトをしていた飲食業に興味を持ち経営者になりたいと願っていたという。大学には行かず東京誠心調理師専門学校に入学した。通学しながらアルバイトで天ぷらで有名な銀座「天一」で職人の仕事に魅了され「和」の世界に入り込む。

卒業後、老舗の人形町「今半」で日本料理の基本をみっちり修行した。その後横浜で修行を続けた。TVドラマでご承知の通り、板前の修行というのは生半可な厳しさではない。田舎者だし金もない。朝は早くから夜遅くまで働きどおしだ。

しかし大澤さん、運の強い人物で苦難に陥った時、必ず救ってくれる人物が現れる。これは大澤さんが人に好かれる性格を持っていた、というの大きな要因であろう。

社長はこどもの誕生を機に福島に戻り、縁あって「ままだおる」で有名な(株)三万石のフードサービス部に入社。同社はイタリアンレストラン「アンジェロ」を展開することになり、大澤さんは第1号店より担当しマニユール作りから企画、人事、事業展開と眼の回るような忙しい仕事の中で奮闘し

た。福島を拠点に、郡山、いわき、会津と七店舗まで拡大する事業部長を勤め、ここで経営の生きた勉強をすることになる。十五年間勤めた三十八歳のとき、これからの人生を見つめ直すために突然退社した。

「すぐ独立したんですか」
「原点に帰ろうと思ひまして東京・横浜に行き、前働いていた店舗や仲間友人と会い、いろいろアドバイスを頂きました」

その頃、三万石さんより福島駅前アンジェロの撤退の話を頂くと同時に福島トヨタ様からも個人の私にテナントを貸してくれるということになり、平成十七年ようやく独立、自分の店をもつことが出来た。80坪の広い店内、従業員の確保、教育、店舗のデザイン、食材の仕入れ、調理、経理にいたるまで血のにじむような体験をしました、と語ってくれた。毎晩、悪夢を見るんです。八年経過した今、社長の顔は明るくイケメンが輝いている。



「7月のこよみ」
「十年ぶりに配達されて来たもんですから」

お知らせ

- 25. 6. 3 第1回通常総会
- 25. 6. 12 第1回婚活委員会
- 25. 6. 18 決算説明会
- 25. 6. 19 セミナー「営業担当者のための“実践型”プレゼンテーション」講座
講師 藤原敬行氏
(ナレッジフォース・パートナーズ合同会社代表社員)
- 25. 6. 21 保原支部交流会



セミナー「営業担当者のための“実践型”プレゼンテーション」講座